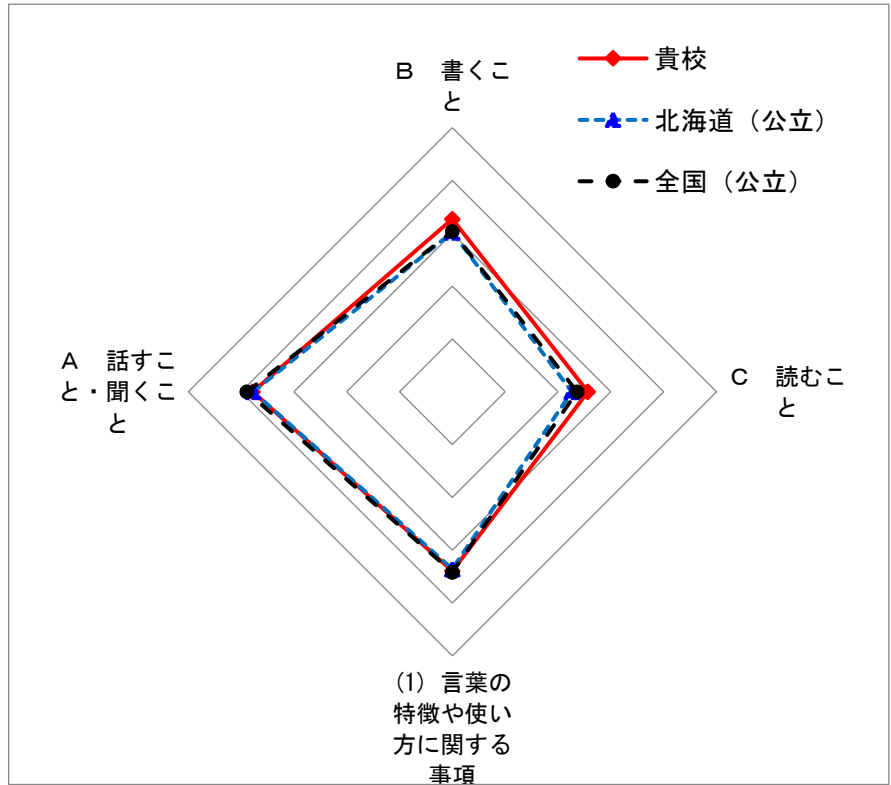


令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について

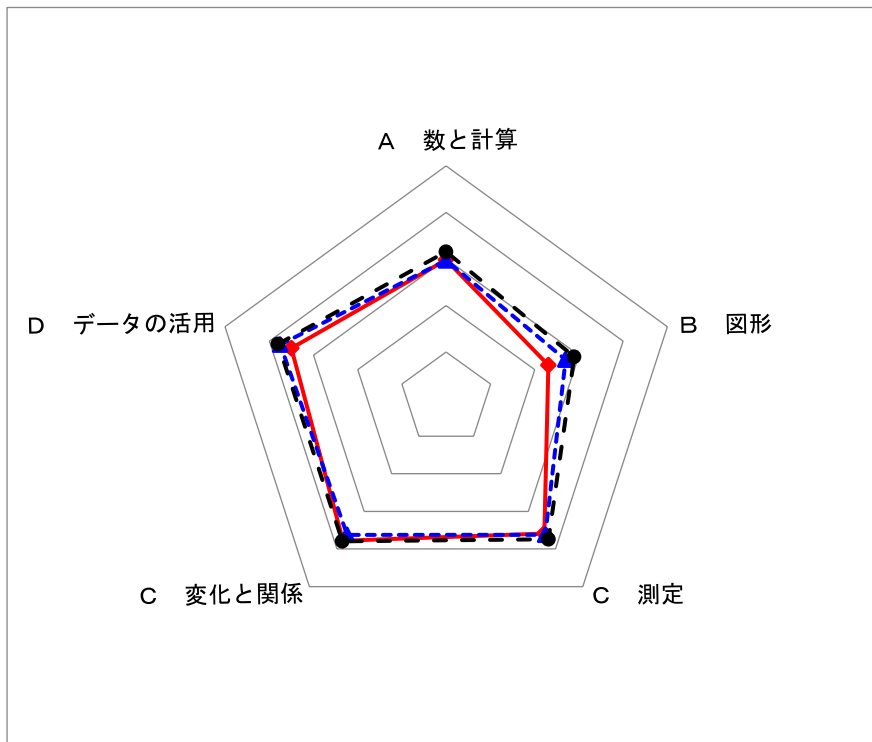
帯広市立川西小学校

全国平均を100として、項目ごとに比較しています。

国語



算数



児童の実態（全国学力・学習調査の結果より）

国 語

*全国平均と比較すると、以下の点に課題が見られる。

①一 目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることができる

▲ 誤答を解答した児童が全国平均より多くいることから、事実と感想の区別ができていない児童がいる。

話の構成の効果について考えたことを交流する場面を設定するなどして指導に当たる。

②二 思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことができる

▲ 「～より」の使い方で、「～は～に比べて」と同じ使い方をしているものを捉えることができていない児童がいる。2番「雨天により」を選んだ児童や、3番「正門よりお入りください」を選んだ児童が全国平均より多くいる。

思考に関わる語句の使われ方に気を付けて読むことで、筆者が伝えたいことをより正確に捉えられることを児童が実感できるように指導に当たる。

②三 目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見付けることができる

▲ 「条件に合わせて書きましょう。」という問題で、複数の条件がある場合、条件全てに当てはまる解答ができない。（無回答は少ない。）

文章中に用いられている図表などが、文章のどの部分と結びつくのかを明らかにした上で、文章と図表などの関係をとらえて読むことができるように指導に当たる。

③（2）イ 文の中における主語と述語との関係をとらえることができる

▲ 主語が「何が／だれが」を表す言葉であることを理解できておらず、主語と述語との関係をとらえることに課題がある。

- ・ 主語と述語の関係について、低学年から繰り返し指導していく。
- ・ 日常的に主語が何かを意識して文章を書くように指導する。その際、読み手の立場に立って主語を省略せずに示したり、主語と述語のねじれがないかを確認してからつたえたりすることができるように指導する。

③（2）オ 文の中における修飾と被修飾との関係をとらえることができる

▲ 「すぐに」がどの言葉を修飾しているか選ぶ問題で、1番「遊び終わったら」と解答している児童が全国平均30.3%より多かった。直前にある「遊び終わったら」という言葉を「すぐに」で補足していると捉えてしまったと考えられる。

- ・ 修飾語を加えて文を詳しくしたり、修飾語がどの語句を詳しくしているのかをはっきりさせたりすることを指導する。
- ・ 修飾語は直前や直後の語句を詳しくするばかりでなく、離れた語句を修飾する場合もあることを理解できるように指導する。

*全国平均と比較すると、以下の点に成果が見られる。

漢字については、3問とも全国平均を上回っている。

③三(1)ア 転がっている

③三(1)ウ 積み重ね

③三(1)エ 原因

*全国平均の正答率を10パーセント以上上回っている。

②一 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することができるか

○「相川さん」が読んだ資料が、何について、どのように書かれているかを捉えて読むことができている。

算 数

*全国平均と比較すると、以下の点に課題が見られる。

①(1) 二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる

▲ Aコース・Bコースそれぞれの道のりを求める式や言葉、AコースとBコースの距離の差を求める式や言葉の3つを答える必要があるが、2つしか書いていない児童や、距離の差の計算を間違っている児童がいた。

日常生活の問題を解決するために、必要な数値を選び、具体的な場面に対応させながら、読み取った数値を適切に用いて式に表すことができるように指導する。

②(1) 三角形の面積の求め方について理解している

▲ $3 \times 4 \times 5 \div 2$ あるいは $3 \times 4 \times 5$ と答えた児童が全国平均より多くおり、三角形の面積を求める公式について理解しておらず、示された全ての辺の長さに着目して立式しており、必要な情報を選び出すことができていると考えられる。

公式を導き出す過程において、図形のどこの長さに着目すると、面積を求めることができるのかを理解させ、公式を用いて面積を求める際には、底辺と高さの関係を理解し必要な情報を選び出すことができるように指導する。

②(3) 複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる

▲ 平行四辺形の面積を求める公式を用いた、平行四辺形 ABCD の面積を求める式や言葉を書いていない児童、平行四辺形 ABCD の面積を二等辺三角形の面積の四つ分として求めている児童が全国平均より多くいた。

複数の図形を組み合わせた図形について、面積を求めるために必要な辺の長さや高さを、組み合わせる図形の辺の長さや高さから求めるなど、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えることができるように指導する。

③ (1) 棒グラフから、数量を読み取ることができる

▲棒グラフの最小目盛が1に当たると捉えている児童，5に当たると捉えている児童が，10に当たると捉えている児童がいた。

棒グラフの目盛りの数値や最小目盛りの大きさを捉えて各項目の数量の大きさを読み取ることができるように指導する。

③ (4) 帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を言葉と数を用いて記述できる

▲エ「地域の図書館で本を借りている」と答えた児童が全国平均よりも多かった。5年生と6年生で「あてはまる」と答えた人の割合の違いが一番大きい項目を答えなさいという問題に対し、「あてはまる」と答えた人の割合が大きい項目を答えている。問題を読み取る力が足りないと考えられる。

複数のデータについての項目の割合を比較するために、帯グラフからそれぞれの割合や、各項目の特徴や傾向を読み取ることができるように指導する。

③ (5) 集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができる

▲5年生と6年生の読みたい本を調べることができるデータを選ぶことができ、多くの5年生と6年生に読まれている本を調べることができるデータを選ぶことはできていない児童が全国平均より多かった。

興味・関心や問題意識に基づき、児童自ら統計的な問題解決ができるようにするために、統計的に解決可能な問題を設定することや、設定した問題に対してどのようなデータを集めるべきかを判断できるように指導する。

④ (1) 商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる

▲ $4 \div 8$ と解答すべきところを、 $8 \div 4$ と答えている児童が全国平均より多くいた。(整数)÷(整数)の除法では、被除数の方が序数より大きくなると考えていると思われる。

何が被除数で、何が序数かをとらえて立式できるように指導する。

*全国平均と比較すると、以下の点に成果が見られる。

④ (3) 小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を言葉や数を用いて記述できる

○30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書くことができる。

質問紙より

○生活習慣が身に付いていない児童が増加傾向にある。

(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ている

(5) 平日、2時間以上ゲームをしている

*** 3時間以上ゲームをしている児童の割合が高い**

○毎日学習する習慣はついているが、学習時間が短い。

(17) 自分で計画を立てて勉強している

(21) 学校の授業以外に、平日、1時間以上勉強している。

○自己有用感に関すること

(7) 将来の夢や目標を持っている

(8) 自分には、よいところがある

(9) 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している

○国語・算数に関する興味や理解が低下している

(43) 国語の学習が好き

(45) 国語の授業の内容はよく分かる

(51) 算数の学習が好き

(54) 算数の内容はよく分かる

○コロナウイルスによる休校の影響が見られる

(64) 休校期間中、勉強に不安を感じた

(65) 休校中、計画的に学習を進めることができた

(66) 休校中、規則正しい生活を送っていた

今後、学校として取り組む事

- 1 授業において、課題が大きい学習内容の確認、ねらいに合った適応問題の工夫と時間の確保を行う
- 2 読書活動の充実を更に強化する
- 3 家庭における、家庭学習の習慣化及び生活習慣（ゲーム等の時間短縮）の啓発を強化する